

重大事態下の情下の状況を報告

工場側の善処を望み決意を断り、不測の情勢を惹起シ工場主側及関係者ニ多大の御配慮ヲ煩ハセ居ルハ私共ノ力足ラザル結果ニシテ面目無イ次第デアリマス。抑ル情勢下ニアル事ヲ知り乍ラ一時の場面、收支ニシ早マリ紛糾ヲヨリ悪化セシメタル今日ノ情勢ヲ見責任ノ何ニ依リテ果シ得ルヤ只其ノ進退身ノ置キ処無キヲ感シ居ルモノデアリマス。而シテ此ノ日々ニ悪化シ、破綻ニ直進シ、アル情勢ヲ如何ニシテ收拾スルカ、此ノ一事ニ就テ昨夜更各支部及各工場ノ代表諸君ヲ召集致シマシテ、

「諸君ノ真衷ヲ衷心カラシ要求ハ決シテ今日ノ社会情勢ニ比シ無理トハ思ハナイニ、吾々ノ工場ノ如キモ既ニ問題外デアルガ、産業ハ、諸君ノ責任アル職場ハ、組合ノ面目ハ一体ドウナルガ、意志ヤ感情ノノレズレテ社会ハ成立シテ平ルノデハナイ、ドウカ一先ガ諸君ノ要求事項ハ本部ヘ一任シテ此ノ危局ヲ打開スル最善ノ方法ナリト信スル午段ヲ示ス致スニ依リテ明日ヨリ就業ハノ運付ヲ静肅ニヤリテ黄ヒ度イ」

トテ本日各職場ヨリ一斉ニ提出サレタ事ト思イマス加要求事項ヲ提示シ漸ク承認ヲ得タ次第デアリマス

モトヨリ職場カラ提出セテレタルモノデアリマス。組合ノ総意トシテ御接見有リ度イ、デアリマス。現情況下ニ於テハ御支払ニ可成、困難ヲ感ゼラレル工場モ御有リノ事トハ存ジマスガ、サレバトテ此ノ紛糾セル與情ヨリシテ否トノ一言デハ済マズ事ト思ヘマス、ドウカ工場主組合ノカニ依リ下サイマシテ速カニ事態收拾ヘノ最善ナル方法ヲ講セシレン事ヲ、而シテ責任ヲ果サントスルル共、断固タル決意モ、又甚ルニアル事ヲ、

二月七日

全手本部

別記四

聲明書

東京埼玉神奈川 各地に散在する牛染浴衣染工場、百二十有餘の全従業員に依つて組織する本組合所為因東手中形染工組合は本年第七回全口大会の希望とせし賃銀ニ引上り要求を更迭し移住せんと去る四日より五日に涉り工場主側ニ要求書を提出し社会情勢に適應せし賃銀支払方の回答を求むるに至つた然し工場主は業下の受動的状態原料賤貴等を口実に之を一蹴し、此処に於て各工場従業員は最後の行動に依りて一擧要求の貫徹を決意し職場を捨て、街頭に立ち上つたのである。抑る不測の情勢甚速に組合執行部は緊急職場全体会議を招集し、通過の措置と今後の対策を協議したる結果即日職場に復帰し、交渉戦に依りて、問題の帰結を計らんと決定、六日早朝各自工場へ出勤した。下には総会の名に於て従業員の單獨就業拒絶の決議を突き付け、工場へ決意の至つた。当日警視廳に労資双方呼出され解決への急速を極言せられたる。物別れとなり、対立五日、紛争は深刻化し擴大化しつ、本日を迎えたのである。原因のそれは産業の社会情勢に追隨し得ぬ不幸とし、中小工業である事、期節的産業労働者の持つ生活への不安からである。本組合としては団体的協約、産業全体主義は確固不ゆの指導精神であり、これに叛くものは団体的協約、産業の針下にはあるが社会情勢に生活の矛盾に依りて繁栄する真実の闘争である。ち立つた従業員は総意を唯一の基礎とし、今後全員の解決策への研究と打開に努力せんとするものである。尚閑西地方各組合も果敢に斗争を盛つて、到底上

げ決議更迭化に一致進出しつ、あり、本部も鋭くこの危機を支持を決定して、以上原因及経過を述べ今後への態度を此處に聲明するものである。